

事務事業名	公衆浴場運営支援事業	所属部門	住民生活課 生活環境係
町長公約		公約達成年次	

◆ 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 住民の日常生活において欠くことができない公衆浴場の確保を図るため、要綱に基づき申請を受け、かかる事業経費について一部補助を行う。
2. 対象(何を対象にしているか) 公衆浴場事業主
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 公衆浴場の経営安定を図り、継続的に事業の継続を確保することができる。
4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつくか) 住民に公衆浴場を確保し、公衆衛生の向上を図る。

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定
(必ずしも3つの指標を設定する必要はありません)

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)	単位
① 公衆浴場数	施設
②	
③	

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位
① 補助を行った公衆浴場数	施設
②	
③	

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
① 存続している公衆浴場数	施設
②	
③	

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	単位
① 居住環境に満足している町民の割合	%
②	
③	

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	2,300,000	3,300,000	1,100,000	1,100,000	1,100,000	1,100,000
	事業費計(A)	円	2,300,000	3,300,000	1,100,000	1,100,000	1,100,000	1,100,000
人件費	正職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2
	人工数(業務量)	人工	0.0047	0.0153				
	人件費計(B)	円	36,564	119,309				
	トータルコスト(A+B)	円	2,336,564	3,419,309				
活動指標	① 施設		1	1	1	1	1	1
	②							
	③							
対象指標	① 施設		1	1	1	1	1	1
	②							
	③							
成果指標	① 施設		1	1	1	1	1	1
	②							
	③							
上位成果指標	① %		79.2	78.0	95.0	95.0	95.0	95.0
	②							
	③							

◆ 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 公衆浴場は、浴室のある住宅の普及により、その利用目的が変わりつつあるが、依然浴室がない住宅に住んでいる方もいる。一方で、近年の公衆浴場利用客の減少や、長期に渡る燃油高騰が続くなど、厳しい経営を迫られている状況にある。町民の入浴機会の確保・継続のため、より一層の支援が必要との考えから、支援体制を見直したところである。	2. 今後の取組 (2019年度及び2020年度以降の方向性・課題の解決方法) 公衆浴場の経営状況は、一気に改善する見込みは薄いと思われる。今後においても継続的な支援が必要と考える。しかし、どこまで支援を行うかは、毎年の経営状況等を考慮しながら対応していく。
---	--

事務事業名	斎場管理運営事業	所属部門	住民生活課 生活環境係
町長公約	「芽室町斎場整備方針」を策定	公約達成年次	2021年

◆ 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 墓地、埋葬等に関する法律に基づき、火葬業務を行っており、施設運営のための維持管理を行っている。更に、業務に支障がないよう、火葬炉等の改修や定期的な保守点検を実施している。
2. 対象(何を対象にしているか) 町民・利用者
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 火葬・埋葬が滞りなく行えるようにする。
4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつか) 町民・利用者が無事に葬祭を終えることができる。

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定
(必ずしも3つの指標を設定する必要はありません)

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)	単位
① 維持管理日数	日
②	
③	

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位
① 火葬件数	件
②	
③	

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
① 点検により異常が確認された件数	件
② 整備等を行った件数	件
③	

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	単位
① 芽室町の「行政サービス」に満足している町民の割合	%
②	
③	

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円	604,600	572,700	688,000	688,000	688,000	688,000
	一般財源	円	12,763,557	12,955,510	13,223,000	13,223,000	13,223,000	13,223,000
	事業費計(A)	円	13,368,157	13,528,210	13,911,000			
人件費	正職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2
	人工数(業務量)	人工	0.1270	0.0354				
	人件費計(B)	円	988,005	276,048				
	トータルコスト(A+B)	円	14,356,162	13,804,258				
活動指標	①	日	365	365	365	365	365	365
	②							
	③							
対象指標	①	件	353	292	220	220	220	220
	②							
	③							
成果指標	①	件	1	0	0	0	0	0
	②	件	10	9	9	9	9	9
	③							
上位成果指標	①	%	81.7	81.4	80.0	80.0	80.0	80.0
	②							
	③							

◆ 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 昭和51年度に建設した斎場(昭和52年供用開始)は、建設から40年が経過し、施設の老朽化が著しく進んでいる。また、施設の維持管理のため計画的な整備を行っているところだが、今後、火葬炉の大規模修繕等が予定されている状況にある。そのため、新たな斎場の建設が考えられるが、設置方法や設置場所、建設予定期間など、検討しなければならない課題が多い。また、現在にあっても町外からの施設利用が多いこと、芽室町民が近隣自治体の施設を利用することもあることから、近隣自治体との広域的な対応についても検討する必要がある。	2. 今後の取組 (2019年度及び2020年度以降の方向性・課題の解決方法) 将来的に現施設を維持し続けていくことは困難と考えており、設置方針や設置場所等を検討し、「芽室町斎場整備方針」を策定する。また、近隣自治体との広域的な対応について整理を行う。更に、整備方針について関係機関や関係者などとも協議・説明等を密に行い、新たな斎場整備に向けて具体的に取り組みを進めていく。
---	--

事務事業名	資源ごみ収集処理事業	所属部門	住民生活課 生活環境係
町長公約			公約達成年次

◆ 事務事業の目的と効果

<p>1. 手段(事業の概要) 9種類の分別した資源ごみを週1回収し、十勝リサイクルプラザ(十勝圏複合事務組合)に搬入している。</p>
<p>2. 対象(何を対象にしているか) 家庭から排出されるごみ</p>
<p>3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 容器包装リサイクル法に基づき、再資源化できるものを分別して排出してもらう。</p>
<p>4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつくか) 適正処理によるごみの減量化及び資源化の推進。生活環境の保全。</p>

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定
(必ずしも3つの指標を設定する必要はありません)

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)	単位
① 分別種類	種類
② 収集回数	回
③	

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位
① 資源ごみの量	t
②	
③	

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
① 1世帯当たりのごみ排出量	kg
②	
③	

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	単位
① リサイクル率	%
②	
③	

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円	3,349,890	3,387,150	3,430,000	3,430,000	3,430,000	3,430,000
	一般財源	円	75,758,856	79,136,590	81,078,000	81,078,000	81,078,000	81,078,000
	事業費計(A)	円	79,108,746	82,523,740	84,508,000	84,508,000	84,508,000	84,508,000
人件費	正職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2
	人工数(業務量)	人工	0.2796	0.4476				
	人件費計(B)	円	2,175,166	3,490,363				
	トータルコスト(A+B)	円	81,283,912	86,014,103				
活動指標	① 種類		9	9	9	9	9	9
	② 回		5	5	5	5	5	5
	③							
対象指標	① t		923	909	909	909	909	909
	②							
	③							
成果指標	① kg		117	115	115	115	115	115
	②							
	③							
上位成果指標	① %		35.2	34.9	35.0%以上	35.0%以上	35.0%以上	35.0%以上
	②							
	③							

◆ 事務事業の現状と今後の取組

<p>1. 事務事業の現状と課題 容器包装リサイクル法の施行により、一般家庭から排出される資源ごみの分別回収を行っている。 資源ごみ分別開始から約20年が経過し、本町は他自治体と比べて分別状況が良いと言われているものの、危険物の混入や二重・三重袋での排出など、搬入事業者から改善を求められている点も多くある。ごみの資源化と減量化に向けた取り組みが課題となっている。</p>	<p>2. 今後の取組 (2019年度及び2020年度以降の方向性・課題の解決方法) 集団回収による資源ごみ回収分の町内会等への負担金を、今年度より4円から5円に引き上げた。ごみの資源化・減量化を進めるきっかけとなることが期待されている。 また、町内会等へのごみ分別説明会をPRし、可能な限りの資源化を広報するとともに、町総合情報誌すまいるで継続的にごみの話題を提供するなど、町民の意識啓発に力を入れていく。</p>
--	--

2019年度（2018年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画
施策番号 3-3-2

事務事業名	資源物集団回収支援事業	所属部門	住民生活課 生活環境係
町長公約			公約達成年次
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金だけの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

〔事業の概要・現状・課題〕

町内会等の団体が主体となり、有価の資源ごみを回収する活動に対し、回収量に応じた助成を行っている。これにより、町の計画収集の対象となるごみの減量化に貢献しているが、ここ数年、回収量が減少傾向にあったことから、取り組み意欲の向上を図るとともにごみ排出量の減少につなげようとするを目的に、今年度から助成単価を4円から5円に引き上げている。

〔2019年度及び2020年度以降の方向性・課題の解決方法〕

今後においては、ごみの資源化と減量化に向けて、町内会等へのPR等を実施していく。

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
事業費	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	3,947,058	4,027,528	5,018,000	5,018,000	5,018,000	5,018,000
	事業費計(A)	円	3,947,058	4,027,528	5,018,000			
人件費	正職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2
	人工数(業務量)	人工	0.1330	0.0837				
	人件費計(B)	円	1,034,682	652,689				
	トータルコスト(A+B)	円	4,981,740	4,680,217				

2019年度（2018年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画
施策番号 3-3-1

事務事業名	生活環境推進会運営事業		所属部門	住民生活課 生活環境係
町長公約				公約達成年次
簡易シートを選択した理由	<input checked="" type="checkbox"/> 予算を伴わない事業	<input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金のみ	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	
	<input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業	<input type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

〔事業の概要・現状・課題〕

生活環境推進会の事業・会議の準備と開催等、事務局として会の運営支援を行う。

〔2019年度及び2020年度以降の方向性・課題の解決方法〕

環境美化・環境衛生の普及・推進は、町の施策として進めており、当団体の活動目的とも合致し、公共性が高く、行政と一体となって推進することにより、より効果が期待できる。
ただし、役員の成り手が不足していること、役員が高齢であることなどから、身の丈に合った団体運営を行っていく必要があり、今後、組織体制の見直しや、実施事業等の町との住み分け等の整理を行っていく必要があり、役員等とも十分協議をしながら進めていく。

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円					
		地方債	円					
		その他(使用料等)	円					
		一般財源	円	0	0	0	0	0
		事業費計(A)	円	0	0	0	0	0
人件費	人件費	正職員従事人数	人	2	2	2	2	2
		人工数(業務量)	人工	0.0492	0.0463			
		人件費計(B)	円	382,755	361,045			
		トータルコスト(A+B)	円	382,755	361,045			

2019年度（2018年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画
施策番号 3-1-4

事務事業名	帯広地方食品衛生協会芽室支部運営事業	所属部門	住民生活課 生活環境係
町長公約			公約達成年次
簡易シートを選択した理由	<input checked="" type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金のみの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

〔事業の概要・現状・課題〕

帯広地方食品衛生協会芽室支部は、食品衛生法の許可及び登録を受け営業する事業者が、食品衛生思想向上と食品取扱の改善を図り、食品による危害発生の防止に努めるため、研修事業をはじめ帯広保健所からの検査対応等を実施している。

現在にあつては、芽室町が協会芽室支部の事務局となっているが、団体の活動内容や構成員の状況、町からの公費負担がない団体であることなどから、事務局機能を別機関に委任することを検討しており、受け皿となる団体等の調整等が大きな課題となっている。

〔2019年度及び2020年度以降の方向性・課題の解決方法〕

これまでの協会芽室支部の活動内容や業務量等をまとめ、関係機関と意見交換や打診などを行い、町から事務局機能を他の機関に移転させるよう準備を進めていく。

ただし、協会芽室支部とのこれまでの町との関係や帯広保健所・帯広地方食品衛生協会との関係もあることから、様々な関係機関等と調整を図りながら取り進める。

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円					
		地方債	円					
		その他(使用料等)	円					
		一般財源	円	0	0	0	0	0
		事業費計(A)	円					
投入量	人件費	正職員従事人数	人	2	2	2	2	2
		人工数(業務量)	人工	0.0232	0.0251			
		人件費計(B)	円	180,486	195,729			
		トータルコスト(A+B)	円	180,486	195,729			

事務事業名	霊園管理運営事業	所属部門	住民生活課 生活環境係
町長公約	合同納骨塚の検討と斎場の今後	公約達成年次	2021年

◆ 事務事業の目的と効果

<p>1. 手段(事業の概要) 墓地、埋葬等に関する法律の規定に基づく墓地の設置及び管理を行い、利用しやすい環境整備等を行う。また、墓地使用の許可書交付、返還届、承継届等を受理し、台帳整理を行うなど、霊園敷地の適切な管理を行う。</p>
<p>2. 対象(何を対象にしているか) 墓地使用者及び墓参者</p>
<p>3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 良好な施設として利用することができる</p>
<p>4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつくか) 利用者の利便性の向上、より良い墓地環境の提供。</p>

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定
(必ずしも3つの指標を設定する必要はありません)

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)	単位
① 茅室霊園	m
②	
③	

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位
① 墓地使用区画数	区画
②	
③	

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
① 墓地許可区画数	区画
②	
③	

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	単位
① 茅室町の「行政サービス」に満足している町民の割合	%
②	
③	

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円	68,010	51,710	67,000	67,000	67,000	67,000
	一般財源	円	2,796,631	3,131,244	3,214,000	3,214,000	3,214,000	3,214,000
	事業費計(A)	円	2,864,641	3,182,954	3,281,000	3,281,000	3,281,000	3,281,000
人件費	正職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2
	人工数(業務量)	人工	0.0630	0.0717				
	人件費計(B)	円	490,113	559,113				
	トータルコスト(A+B)	円	3,354,754	3,742,067				
活動指標	①	m	48,921	48,921	48,921	48,921	48,921	48,921
	②							
	③							
対象指標	①	区画	1,480	1,480	1,480	1,480	1,480	1,480
	②							
	③							
成果指標	①	区画	1,368	1,349	1,349	1,349	1,349	1,349
	②							
	③							
	①	%	81.7	81.4	80.0	80.0	80.0	80.0
	②							
	③							

◆ 事務事業の現状と今後の取組

<p>1. 事務事業の現状と課題 町内にある霊園・共同墓地の管理を行っているが、近年、墓地の返還や改葬許可申請が増加している傾向にある。今後、墓地やお骨の管理等が困難な方が増えることも予想され、現在、合同納骨塚の設置の必要性について検討を進めているところ。 平成30年度には、寺院等との協議も行っているところであり、関係者の考え等も踏まえて、最終的な方向性を整理していく必要がある。</p>	<p>2. 今後の取組 (2019年度及び2020年度以降の方向性・課題の解決方法) 現実的に今後、どのようなことが想定されるかを判断する資料とするため、住民に対し、現在のお墓やお骨の管理状況等を問うアンケート調査を実施する。 平成30年度に行った寺院等との協議内容等と含め、合同納骨塚の必要性について判断していく。</p>
---	--

事務事業名	クリーンめむろ大作戦推進事業	所属部門	住民生活課 生活環境係
町長公約		公約達成年次	

◆ 事務事業の目的と効果

<p>1. 手段(事業の概要) 豊かな自然環境を守り、住みよい生活環境を推進する意識を持ってもらうために、生活環境推進会と連携しながら環境保全活動を推進する。</p>
<p>2. 対象(何を対象にしているか) 町民</p>
<p>3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 町民の環境配慮意識の向上に努め、環境についての理解を深め、環境を大切にすることを育成する。</p>
<p>4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつくか) 「第3期クリーンめむろ環境基本計画」を推進し、美しい景観の維持と自然環境の保全に努める。</p>

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定
(必ずしも3つの指標を設定する必要はありません)

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)	単位
① 生活環境推進会環境事業実施数	回
②	
③	

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位
① 人口	人
②	
③	

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
① 生活環境推進会環境事業参加者数	人
②	
③	

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	単位
① 町の自然環境に満足している町民の割合	%
②	
③	

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	305,243	299,799	312,000	312,000	312,000	312,000
	事業費計(A)	円	305,243	299,799	312,000	312,000	312,000	312,000
人件費	正職員従事人数	人	2	2	2			
	人工数(業務量)	人工	0.0032	0.1368				
	人件費計(B)	円	24,895	1,066,760				
	トータルコスト(A+B)	円	330,138	1,366,559				
活動指標	①	回	2	2	2	2	2	2
	②							
	③							
対象指標	①	人	18,660	18,540	18,540	18,540	18,540	18,540
	②							
	③							
成果指標	①	人	366	328	350	350	350	350
	②							
	③							
上位成果指標	①	%	83.5	81.5	95.0%以上	95.0%以上	95.0%以上	95.0%以上
	②							
	③							

◆ 事務事業の現状と今後の取組

<p>1. 事務事業の現状と課題 平成31年3月に策定した「第3期クリーンめむろ環境基本計画」に基づき、芽室町の将来の環境保全に向けた取組が重要となっている。</p>	<p>2. 今後の取組 (2019年度及び2020年度以降の方向性・課題の解決方法) 「第3期クリーンめむろ環境基本計画」に基づき、芽室町生活環境推進会と連携し、環境保全活動を進めていく。</p>
---	--

2019年度（2018年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画
施策番号 3-1-4

事務事業名	じん芥管理事務所維持管理事業	所属部門	住民生活課 生活環境係
町長公約			公約達成年次
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金だけの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

〔事業の概要・現状・課題〕

じん芥管理事務所の維持管理を実施している。
昭和61年度建設の建物のため、経年劣化による修繕が予測される。

〔2019年度及び2020年度以降の方向性・課題の解決方法〕

適切な修繕を行い、維持管理していく。

		内訳	単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円						
		地方債	円						
		その他(使用料等)	円	167,075	196,084	190,000	190,000	190,000	190,000
		一般財源	円	225,590	316,519	288,000	288,000	288,000	288,000
		事業費計(A)	円	392,665	512,603	478,000	478,000	478,000	478,000
	人件費	正職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2
		人工数(業務量)	人工	0.0291	0.0178				
人件費計(B)		円	226,385	138,804					
		トータルコスト(A+B)	円	619,050	651,407				

事務事業名	し尿収集処理事業	所属部門	住民生活課 生活環境係
町長公約		公約達成年次	

◆ 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) し尿収集処理手数料の徴収事務、収集運搬の委託料に関する事務等を行っている。
2. 対象(何を対象にしているか) し尿収集処理依頼者
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 衛生的にし尿の収集処理が行われるようにしてもらう。
4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつか) 衛生的な生活環境を保つ。

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定
(必ずしも3つの指標を設定する必要はありません)

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)		単位
①	し尿収集処理手数料徴収件数	件
②	し尿収集処理量	KL
③		

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)		単位
①	し尿収集依頼件数	件
②		
③		

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位
①	し尿収集処理件数	件
②		
③		

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)		単位
①	水洗化率	%
②		
③		

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	国・道支出金	円	78,700	42,600	74,000	74,000	74,000	74,000
	地方債	円	26,600,000					
	その他(使用料等)	円	7,714,860	7,544,640	7,689,000	7,689,000	7,689,000	7,689,000
	一般財源	円	28,630,264	29,410,778	16,799,000	16,799,000	16,799,000	16,799,000
	事業費計(A)	円	63,023,824	36,998,018	24,562,000	24,562,000	24,562,000	24,562,000
人件費	正職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2
	人工数(業務量)	人工	0.0829	0.0303				
	人件費計(B)	円	644,926	236,278				
	トータルコスト(A+B)	円	63,668,750	37,234,296				
活動指標	①	件	1,405	1,494	1,451	1,451	1,451	1,451
	②	KL	1,166	1,235	1,269	1,269	1,269	1,269
	③							
対象指標	①	件	1,405	1,494	1,451	1,451	1,451	1,451
	②							
	③							
成果指標	①	件	1,405	1,494	1,451	1,451	1,451	1,451
	②							
	③							
上位成果指標	①	%	96.0	96.1	96.2	96.2	96.2	96.2
	②							
	③							

◆ 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 市街地については、下水道整備が進み、し尿を汲んでいる家庭が少なくなっているが、農家や建設現場の簡易トイレの収集処理が増えているため、処理量の大幅な減少が見込めない。十勝圏複合事務組合において新污水处理施設を整備し、平成30年度から新施設を稼働している。	2. 今後の取組 (2019年度及び2020年度以降の方向性・課題の解決方法) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、衛生的な生活環境を保つようし尿収集処理を行っていく。
---	--

事務事業名	可燃・不燃等ごみ収集処理事業	所属部門	住民生活課 生活環境係
町長公約		公約達成年次	

◆ 事務事業の目的と効果

<p>1. 手段(事業の概要) 町内3業者と収集運搬業務の委託契約をし、可燃ごみの収集を行い、くりりんセンター(十勝圏複合事務組合)に搬入している。また、粗大ごみの収集を年6回行っている。一般廃棄物収集運搬等許可申請事務の遂行。関係機関と連携した不法投棄等対策を行う。</p>
<p>2. 対象(何を対象にしているか) 家庭及び事業者から出される可燃ごみ・不燃ごみ・粗大ごみ。不法投棄された廃棄物。</p>
<p>3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 家庭及び事業者から出されるごみを適正に処理する。</p>
<p>4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつくか) 適正処理によるごみの減量化及び資源化の推進。生活環境の保全。</p>

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定
(必ずしも3つの指標を設定する必要はありません)

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)		単位
①	可燃ごみの収集回数	回/週
②	不燃ごみの収集回数	回/月
③	粗大ごみの収集回数	回/年

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)		単位
①	可燃ごみの排出量	t
②	不法投棄件数	件
③		

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位
①	1世帯当たりのごみ排出量	kg
②	不法投棄指導件数	件
③		

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)		単位
①	町民一人一日当たりのごみ排出量	g
②		
③		

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円	35,297,211	36,647,035	36,328,000	36,328,000	36,328,000	36,328,000
	一般財源	円	78,483,316	70,118,238	71,302,000	71,302,000	71,302,000	71,302,000
	事業費計(A)	円	113,780,527	106,765,273	107,630,000	107,630,000	107,630,000	107,630,000
人件費	正職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2
	人工数(業務量)	人工	0.4655	0.5513				
	人件費計(B)	円	3,621,388	4,299,011				
	トータルコスト(A+B)	円	117,401,915	111,064,284				
活動指標	①	回/週	5	5	5	5	5	5
	②	回/月	2	2	2	2	2	2
	③	回/年	6	6	6	6	6	6
対象指標	①	t	3,571	3,538	3,538	3,538	3,538	3,538
	②	件	60	48	48	48	48	48
	③							
成果指標	①	kg	453	445	445	445	445	445
	②	件	4	1	1	1	1	1
	③							
上位成果指標	①	g	589.07	585.48	345.00	345.00	345.00	345.00
	②							
	③							

◆ 事務事業の現状と今後の取組

<p>1. 事務事業の現状と課題 廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、家庭から排出される一般廃棄物の処理は町の責務であり、可燃ごみの収集運搬業務については町内の3業者に委託し、十勝圏複合事務組合で処理を行っている。 また、平成31年3月、芽室町環境基本計画を策定しており、ごみ処理をはじめとする環境対策に取り組んでいくこととなる。 毎年、町内で不法投棄・ポイ捨てが目立つ状況にあり、これらへの対策が大きな課題となっている。管内自治体が一堂に会する会議等もあるが、具体的な対策が見いだせていない状況にある。</p>	<p>2. 今後の取組 (2019年度及び2020年度以降の方向性・課題の解決方法) 十勝圏複合事務組合は、新中間処理施設建設に向けて関係自治体等との協議等を進めており、環境や災害等に配慮した新たな施設が建設される予定である。 不法投棄・ポイ捨て対策については、効果的な対策は見いだせていないものの、関係機関等との連携・監視活動や広報活動等を行い、「不法投棄に厳しい町」を目指して取り組んでいく。 また、ごみの資源化・減量化に向けて、広報や出前講座などで周知を図っていくなどの対応を行っていく。</p>
---	---

事務事業名	害虫・鳥害対策事業	所属部門	住民生活課 生活環境係
町長公約		公約達成年次	

◆ 事務事業の目的と効果

<p>1. 手段(事業の概要) マイマイガやスズメバチの駆除、カラス対策等を行い、環境被害等を解消している。</p>
<p>2. 対象(何を対象にしているか) ①町民及び公共施設利用者</p>
<p>3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 害虫やカラス被害を最小限にし、安全安心な暮らしができるようにする。</p>
<p>4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつくか) 害虫やカラス被害を最小限にし、安全安心な暮らしができるようにする。</p>

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定
(必ずしも3つの指標を設定する必要はありません)

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)	単位
① 駆除日数	日
②	
③	

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位
① カラス・ハチなどの駆除依頼件数(公共施設)	件
②	
③	

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
① カラス・ハチなどの駆除件数(公共施設)	件
②	
③	

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	単位
① 芽室町の「行政サービス」に満足している町民の割合	%
②	
③	

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	191,110	137,547	250,000	250,000	250,000	250,000
	事業費計(A)	円	191,110	137,547	250,000	250,000	250,000	250,000
人件費	正職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2
	人工数(業務量)	人工	0.0055	0.2239				
	人件費計(B)	円	42,788	1,745,961				
	トータルコスト(A+B)	円	233,898	1,883,508				
活動指標	①	日	138	161	161	161	161	161
	②							
	③							
対象指標	①	件	138	161	161	161	161	161
	②							
	③							
成果指標	①	件	138	161	161	161	161	161
	②							
	③							
上位成果指標	①	%	81.7	81.4	80.0	80.0	80.0	80.0
	②							
	③							

◆ 事務事業の現状と今後の取組

<p>1. 事務事業の現状と課題 近年、マイマイガの発生は減少しているが、スズメバチやカラスの苦情が増加している。</p>	<p>2. 今後の取組 (2019年度及び2020年度以降の方向性・課題の解決方法) 害虫等の駆除については、発生時期等を考慮しながら対応していく。</p>
---	--

2019年度（2018年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画
施策番号 3-3-1

事務事業名	環境審議会運営事業		所属部門	住民生活課 生活環境係
町長公約				公約達成年次
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金だけの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業			

〔事業の概要・現状・課題〕
 環境基本法に基づき、クリーンめむろ環境基本条例で審議会を設置し、町長の諮問に応じ、環境に関する基本的事項を調査・審議するとともに、必要に応じて町長に対し、助言や提言を行っている。

〔2019年度及び2020年度以降の方向性・課題の解決方法〕
 平成31年3月に策定された「第3期クリーンめむろ環境基本計画」の中で、環境部門の施策評価について、芽室町総合計画審議会の評価結果を環境審議会へ報告し、町が行う環境部門に係る事項等に対し意見等をいただくこととしている。
 住民目線での意見は非常に重要であり、また、法で定められた重きのある審議会である。施策実施において、今後においても審議会を尊重しながら対応していく考えである。

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円					
		地方債	円					
		その他(使用料等)	円					
		一般財源	円	52,460	92,652	97,000	97,000	97,000
		事業費計(A)	円	52,460	92,652	97,000	97,000	97,000
投入量	人件費	正職員従事人数	人	2	2	2	2	2
		人工数(業務量)	人工	0.0041	0.0139			
		人件費計(B)	円	31,896	108,392			
		トータルコスト(A+B)	円	84,356	201,044			

事務事業名	環境調査業務委託事業	所属部門	住民生活課 生活環境係
町長公約		公約達成年次	

◆ 事務事業の目的と効果

<p>1. 手段(事業の概要) 町の大気・水質・悪臭・騒音について、環境基準を満たしているか調査を委託し、町の環境変化・汚染等を確認する。また、公害防止に関する届出の受理・審査を行っている。</p>
<p>2. 対象(何を対象にしているか) 町の大気・水質・悪臭・騒音など環境全般</p>
<p>3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 町の大気・水質・悪臭・騒音などの数値結果から、環境保全に向けた検討材料とする。</p>
<p>4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつくか) 町の自然環境の保全</p>

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定
(必ずしも3つの指標を設定する必要はありません)

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)		単位
①	環境調査委託数	回
②		
③		

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)		単位
①	調査項目	項目
②		
③		

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位
①	調査実施回数	回
②	調査実施地点	地点
③	環境基準を満たす地点	地点

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)		単位
①	町の自然環境に満足している町民の割合	%
②		
③		

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	国・道支出金	円	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	3,533,520	3,511,740	3,911,000	3,911,000	3,911,000	3,911,000
	事業費計(A)	円	3,548,520	3,526,740	3,926,000	3,926,000	3,926,000	3,926,000
	人件費							
正職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2	
人工数(業務量)	人工	0.0064	0.0192					
人件費計(B)	円	49,789	149,721					
トータルコスト(A+B)	円	3,598,309	3,676,461					
活動指標	①	回	1	1	1	1	1	1
	②							
	③							
対象指標	①	項目	4	4	4	4	4	4
	②							
	③							
成果指標	①	回	76	76	76	76	76	76
	②	地点	25	25	25	25	25	25
	③	地点	17	16	0	0	0	0
上位成果指標	①	%	83.5	81.5	95.0%以上	95.0%以上	95.0%以上	95.0%以上
	②							
	③							

◆ 事務事業の現状と今後の取組

<p>1. 事務事業の現状と課題 毎年、4項目(大気・水質・悪臭・騒音)について、地点を定め、環境基準を満たしているか環境調査を実施しているところである。 平成28年度の台風災害後、河川工事等が行われたことによる河川の濁りなどの影響で数値が変化した箇所もあるが、現在はおおむね基準値を満たしている状況である。 ただし、大腸菌群については、ここ数年を見ても数値が減少していない状況であり、原因の推定と関係機関との調整による対応が課題となっている。</p>	<p>2. 今後の取組 (2019年度及び2020年度以降の方向性・課題の解決方法) 継続して調査を実施し、関係機関との調整により、環境基準値を満たすよう取り組む。 また、環境問題については時代によって異なり、様々な分野にわたることから、委託業者などから情報提供等をいただき、効果的な観測地点や新たな観測内容等について、必要に応じて検討・対応していく。</p>
--	--

2019年度（2018年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画
施策番号 5-2-3

事務事業名	狂犬病予防対策事業		所属部門	住民生活課 生活環境係
町長公約				公約達成年次
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金だけの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業			

〔事業の概要・現状・課題〕

①畜犬の登録、死亡等の届出受付②狂犬病予防注射票の交付③集合注射、登録受付巡回④畜犬登録と狂犬病予防注射の啓発⑤畜犬の適正な飼育管理の指導、啓発を行っている。

町民の安全を保持するため、専属の野犬掃討員1名を配置し野犬等による人畜被害を防ぐため野犬掃討業務を行っている。

〔2019年度及び2020年度以降の方向性・課題の解決方法〕

日本において狂犬病は、長年発症していないが、予防接種は必要であることから啓発に努めていく。

		内訳	単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円						
		地方債	円						
		その他(使用料等)	円	866,086	516,250	956,000	956,000	956,000	956,000
		一般財源	円	2,614,126	2,919,201	2,798,000	2,798,000	2,798,000	2,798,000
		事業費計(A)	円	3,480,212	3,435,451	3,754,000	3,754,000	3,754,000	3,754,000
投入量	人件費	正職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2
		人工数(業務量)	人工	0.0807	0.1088				
		人件費計(B)	円	627,811	848,417				
		トータルコスト(A+B)	円	4,108,023	4,283,868				